

医療法人済恵会 広報誌

オアシス83号

広報誌オアシス 制作 広報委員会
〒379-0116 群馬県安中市安中3532-5
Tel (027) 382-3131 FAX (027) 382-6568

新入社員を迎えて

医療法人 済恵会

理事長 須藤 英仁



今年、冬は寒さに比較し思いのほか桜前線が早いスピードで去っていきました。花粉症も今年はひどいようです。皆さんお変わりありませんでしょうか。

さて今年も当法人では20人の新入職者を迎えることが出来ました。新卒の新人も多く、本当にフレッシュな人材を確保できたと喜んでおります。

今年、新人教育を全て見直しました。今までの集団的な教育から、2～3人ずつの小グループに分け、各セクションをラウンドしました。そして各部署で伝えたいことを、決して落ちることなく新人に伝えきることを目的としました。病院・老健めぐみどこの部署に配属されていても、当法人の職員であれば絶対に知らなければならないことを、しっかり教育しようとする試みです。

その中で最も大事なことは医療安全に対する行動規範です。このことを念頭に、新人が決して迷うことなく確実に行動し、早く医療現場に入っていくことを目的としています。法人ス

タッフ一丸となって一生懸命教育していきませんが、なんといっても大事なことは患者さんの協力です。新人と分かりましたら是非声を掛けてください。何かお気づきのことがありましたら注意してください。そして一生懸命仕事をしていましたらどうぞ褒めてあげてください。医療・介護を志す人間にとって最も大きな“栄養”は患者さんに喜んでもらえることです。そして評価してもらえることです。就職後早々に自分の“栄養”となる、患者さんの喜びを体験させることこそが大事であると考えています。なるべく早く現場に出し患者さんに喜んでもらえることを経験させたいと考えております。新人の頃の感動は決して忘れるものではなく、その後の人生を支えることとなります。

医療法人済恵会スタッフは今年の新入社員20人が大きく育つことを目標として新年度の活動を開始します。平成30年度も変わらないご支援宜しくお願い致します。

医師紹介

内科医 櫻井 優一郎

平成28年4月に当院常勤として着任した内科医師の櫻井優一郎です。今回自己紹介をさせて頂く機会を得ましたので、まず初めに私がこれまでの勉強してきたことからお話させていただきます。

私は、平成18年に栃木県にある獨協医科大学を卒業し、同大学病院早期臨床研修を修了後、同大学病院第二外科に入局し恩師である窪田敬一教授の元で学びました。その後、群馬県に戻り、国立病院機構高崎総合医療センターの総合診療科で佐藤正通先生及び、緩和医療科田中俊幸先生の下4年間勉強しました。これまで学生時代ならびに医師になって18年、数多くの患者様との一期一会により幅広い知識、治療及びケアを経験することができました。この度、光栄にも地元である須藤病院に勤務することができました。これまでの経験を活かし、患者様、御家族、地域の皆様や従業員のスタッフ、すべての方々とのコミュニケーションを第一にし、救命救急医療から緩和ケアまで対応できるよ365日毎日大切に、成長していくことが目標です。成長なくして、希望なし。これからも、須藤病院の一員として、地域一人一人の患者様、御家族の希望に寄り添った医療を提供できるように全力で取り組みたいです。その他、安心して自宅や施設で過ごすことができるような医療と福祉の懸け橋として、微力ながらも在宅支援も積極的に、患者様や地域の先生、看護、薬剤師、柔術士、介護スタッフの皆さんとの橋渡し役になれば幸いです。得意分野は、不明熱、慢



性疼痛などの総合内科、糖尿病などの内分泌疾患、肝炎などの消化器疾患（腹部エコー、上部消化管内視鏡検査）、嚥下障害（嚥下内視鏡検査）、慢性疼痛や癌性疼痛などの疼痛緩和、外科的手術に対するセカンドオピニオンです。

略歴

安中市原市在住。出身は生まれも育ちも群馬県安中市です。原市小学校卒業、安中第二中学校卒業、東京農大二校卒業
平成12年に栃木県にある獨協医大に入学しました。

櫻井先生に6つの質問

① 医師になった理由

物心ついた幼少期より、父親（炳一郎）の背中を見て、訪問診療に憧れがありました。地元で生活する人を支えるため、在宅で訪問診療をする医師を目指しました。

② 医師になってよかったこと

患者様、御家族、医療従事者の方々に感謝して頂けること、ありがたいの一言が聞けることです。

③ 尊敬する人

患者様一人一人が自分の人生の先生として、敬意をもってお付き合いをさせてもらっています。

④ 好きな言葉

一期一会

⑤ 趣味

読書・山登り・スキー
最近では硬式テニス・ゴルフを勉強中です。

⑥ おすすめの本

新たな全人的ケア編
(トム・A・ハッチソン：青梅社)

老人保健施設 めぐみ より

いつも介護老人保健施設めぐみをご利用いただき、ありがとうございます。

さて、平成30年の4月1日より3年に1度の介護報酬の改定が行われました。そこで、国から打ち出された方針としては、介護老人保健施設は在宅復帰の支援施設という事でした。つまり、元の生活に戻る事を念頭に置き、色々な支援を行う必要がなくなるという事は、困難であり、そのような方は入所期間が区切られない施設への入所をお手伝いする、中継ぎとしての役目を

果たすことは、お仕向される方が、お仕事をなさる方など、難後にご利用いただき、現在ご利用いただいております。個別にご相談頂きます。ご利用ありがとうございます。また、お問い合わせもよくお願いいたします。

介護老人保健施設めぐみ
支援相談員 新井寛之

教育担当として～看護師 長岡友紀～

今年度は、医療法人済恵会に多くの新入職員が入職しました。自身は教育担当という重大な責務を頂き、身の引き締まる思いです。それと同時に、新たな仲間と共に、仕事をすることができ、大きな喜びを感じております。

私が、今年度新入職員のスタッフに特に強く求めていることは、挨拶と笑顔です。とても当たり前のことなのですが、多忙な業務や、緊張した精神状態の中では、どうしても表情が硬くなり、言葉も出にくくなってしまうと感じています。

病院には、病气やけがで、辛い思い、不安な思いをされている患者さんがたくさんいます。そんな患者さんに対し、元気で活発なスタッフの笑顔が、元気にあいさつし、笑顔でコミュニケーションが取

ることができれば、きっと患者さんの苦痛や不安の軽減につながると思っています。

笑顔がなく不愛想な人間には、絶対に相手も笑顔にはなりません。患者さんからたくさんの笑顔を受けられるような、笑顔で元気なスタッフになってもらえようしっかりと努力をしています。

患者さんの笑顔は、私たち医療従事者の一番の喜びです。仕事からの喜びは、向上心や働き甲斐にもつながります。多くの喜びを得た人間ほど、職業人として大成します。スタッフの育成、患者さんの喜びのためにも、挨拶と笑顔が当たり前にできる人間になれるよう新入職員には働きかけてい